

学んで話して楽しい にほんご教室

夢気球だより

「夢気球だより」編集部 発行
〒610-0121

城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階 城陽市国際交流協会内

電話 0774-57-0713

編集者 <西山雅文> niciyama0323@gaia.eonet.ne.jp



四周年記念

学習者・支援者交流会

今年第4回目となる学習者・支援者交流会は、行事の關係で例年より後にずらし10月25日(日)城陽市国際交流協会、59名の参加者で開催されました。最近の参加者数は、ほぼ60名台に達しており、所せましと感ずるほどの熱気満々の交流会となっております。



日本語支援ボランティア ～学んで話して楽しい日本語教室～
夢気球四周年記念交流会

多数の参加者の到着で、名札書き等で受付は少々混雑気味の状況。6グループに分かれて13:30開始。まずいつもの4択問題の投げかけで移動するアイスブレイキングからスタートです。ワイワイガヤガヤといながら移動。「日本のいいところは？」の4択では、「町がきれい」に多数の方が集まり、何となく納得。気分が和らいだところで、いつもの「音の出ないマイク」をまわしての自己紹介です。それぞれの日本語習得に際しての紹介です。簡単な紹介の中でも、日本語を学ぶことや文化を知ることなど自己目標を盛り込んで紹介する学習者もあり、大きな拍手が起りました。その後は、自由な懇談で、飲食しつつ話し相手を求めて

ウロウロしながらの自由な懇談になりました。

今回は、女性の学習者が多く、協会で準備された多数の浴衣がフル回転。協会・支援者の女性スタッフが別室での着付けに大忙し。浴衣を着用した女性学習者が登場すると、さつそく嬉しそうにまわりの人たちと笑顔でポーズをとって、写真を撮りパチリパチリ。初めて出会う人との話、国籍を超えての会話、また支援者と学習者との交流など、お菓子やビールなどを飲食しながら気軽な交流の輪が広がりました。ともかく、

懇談での言葉は、日本語が主言語で、標準通りの「思いつきり日本語を使う日」となりました。また、日本語とともに「ニコリ笑顔」「楽しさ」は、お互いの絆となり、親しみが深まったようです。次は、演奏です。まず、インドネシア実習生からなる「ばれっとネシア」の演奏。(昨年デビュー)。ギター・



夢気球四周年記念交流会

20名を超す参加者を得て～

第13回支援者交流会(おしゃべりの会)開催される



ピアノにカホン(打楽器)を加えて2曲の演奏でした。インドネシアで活動している日本人のシンガールの曲も一部日本語で歌いながら披露してくれました。(寮でよく練習しているとのこと)民族衣装も効果的でした。次は、支援者の福井さんと先生によるブレイクダンスという楽器の演奏でした。癒しを奏でる音響とのことで、「里の秋」など3曲の演奏に静かに耳を傾けました。ともかく音楽は、国を越えての共通の感動を共有できるので、演奏が終わるたびに大きな拍手となりました。

それから、恒例となった「しあわせなら手をたたこう」を歌唱に合わせて手足を元気に動かしました。簡単な歌ながらも、みんな乗りにのって楽しくフィナーレを飾ることが出来ました。最後に、みんなのニコリ笑顔で集合写真。交流の輪が広がった楽しい交流会となりました。今回は、支援者の参加者が19名でしたが、さらに多くの参加を期待したいものです。(広報 渋谷 陽)

酷暑が続く中、8月8日午後2時から2時間強にわたり『納涼おしゃべりの会』と銘打って行われました。過去の出席者は2012年の第2回目の23名が最高で、今回はそれに次ぐ21名です。峯松さんのコメントを交えて



「支援者交流会は、自由での話し合いが約1時間強で盛況でした。(協会・役員を除くと、14名の参加)出席者は、次の3つに大別されると思います。第一グループは、日本語支援2年以上の方、第二グループは「支援者ホヤホヤ2年

未満の方」、そして第三グループが「研修を終了して、支援に踏み出そうとしている方」です。さらに「支援をする気持ちは大いにあるが、諸般の事情で当分は無理の方や一時中断されている方」も多数おられると思います。皆さんの熱意にあてられましたが、次の様な感想を持ちました。

- ① 支援中で「さらに高みを目指して研鑽希望や実践中」の方が多いこと
 - ② 80歳で支援を続行中の方がおられ、メンバーの目標たるものが素晴らしい
 - ③ 自分自身の特性を生かして支援中の方が多数おられること(支援活動を自分自身の生き方と連動させている面も見られる)
 - ④ 学習者の出身国の文化等を尊重しながら、併せて日本の状況をも再認識することが同時進行で出来つつある様に支援者が感じている
 - ⑤ その他
- 第一部においても活発な話し合いが続き、時間延長をして話をし

運営委員会より

①総会での質問・見解

第5回総会にて2件の質問の検討結果をお知らせ致します。(見解)
6月に城陽市・市民活動支援課による出前講座を利用して「NPOの基礎知識等」について、運営委員会のメンバーで学習をしました。漠然とわかっていた姿がクリアになりましたが、議論を重ねた結果「その意義・メリット・現在の夢気球の立ち位置等」を討っておりますが、メンバー全員に賛否を問う方法は、実

②掲示板について

学習者を含めて会員の方々との一層の意思疎通を図る目的で、国際交流協会の会議室に「夢気球 掲示板」を今年の5月から設置しています。しかしながら、現在は支援されていない方々は「どんな内容なのか？」との疑問はあります。掲示されている内容については、次の様です。
① 夢気球運営委員会だより (現在第3号 2ヶ月に1回発行)
② 各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

③夢気球役員募集のお知らせ

本来9名のところ、現在は6名の役員で運営を担っています。募集人員は3名です。お気軽に手を挙げて下さい。応募に対する質問も歓迎です。

■募集人員: 3名
■任期: 2016年3月31日(再任可)
■応募方法: メールか電話にて(代表: 杉島)
Sugi777@dab.hi-ho.ne.jp
電話 53-0595

さいと考え、現行通りと致します。(規約通り)

夢気球組織のNPO法人化の検討は?

6月に城陽市・市民活動支援課による出前講座を利用して「NPOの基礎知識等」について、運営委員会のメンバーで学習をしました。漠然とわかっていた姿がクリアになりましたが、議論を重ねた結果「その意義・メリット・現在の夢気球の立ち位置等」を討っておりますが、メンバー全員に賛否を問う方法は、実

実施の各種アンケート・行事案内等の回収率の実績や費用等の面を考慮しても効果は小さくお尋ねください。

※おしゃべりの会の反省点や改善点

※四周年記念交流会の内容

※アンケート実施に当た

り、質問内容等の検討など

②各月末の支援クラスの状況表一覧(曜日別)

10月末では、国際交流協会では23クラス(複数支援少ない)、ばれっとJOYOでは13クラス(複数支援多い)で、支援数はほぼ同じ。

③各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

④各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑤各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑥各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑦各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑧各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑨各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑩各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑪各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。

⑫各行事の写真やご意見を募る「投書箱」も設置しました。